

## 全国月間火山概況

浅間山では、火山性地震はやや多い状態が続いていますが、2月2日の噴火前にみられた周期の短い火山性地震の増加は認められないことや、二酸化硫黄の放出量も減少してきていることなどから、山頂火口から4kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられ、4月7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

桜島では、4月11日以降、昭和火口及び南岳山頂火口で発生したのはいずれもごく小規模な噴火でした。火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続き、大隅河川国道事務所が有村観測坑道に設置している傾斜計及び伸縮計の観測でも、山体の膨張と考えられる特段の変化は認められないことから、24日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

雌阿寒岳では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったため、10日に噴火予報を発表して噴火警報を解除し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げました。

草津白根山では山頂から概ね500mの範囲でごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要なことから、10日に噴火予報を切り替えました（噴火警戒レベル1（平常）継続）。

その他の火山の予報警報事項に変更はありませんでした。

5月11日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

**表1 5月11日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況**

| 警報・予報              | 噴火警戒レベル<br>及びキーワード | 該当火山  |
|--------------------|--------------------|---|
| 火口周辺警報             | レベル2<br>（火口周辺規制）   | 浅間山、三宅島、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、<br>諏訪之瀬島  |
|                    | 火口周辺危険             | 硫黄島   |
| 噴火警報及び火山現象に関する海上警報 | 周辺海域警戒             | 福徳岡ノ場   |
| 噴火予報               | レベル1（平常）           | 雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）霧島山（御鉢）  |
|                    | 平常                 | 知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、二セコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

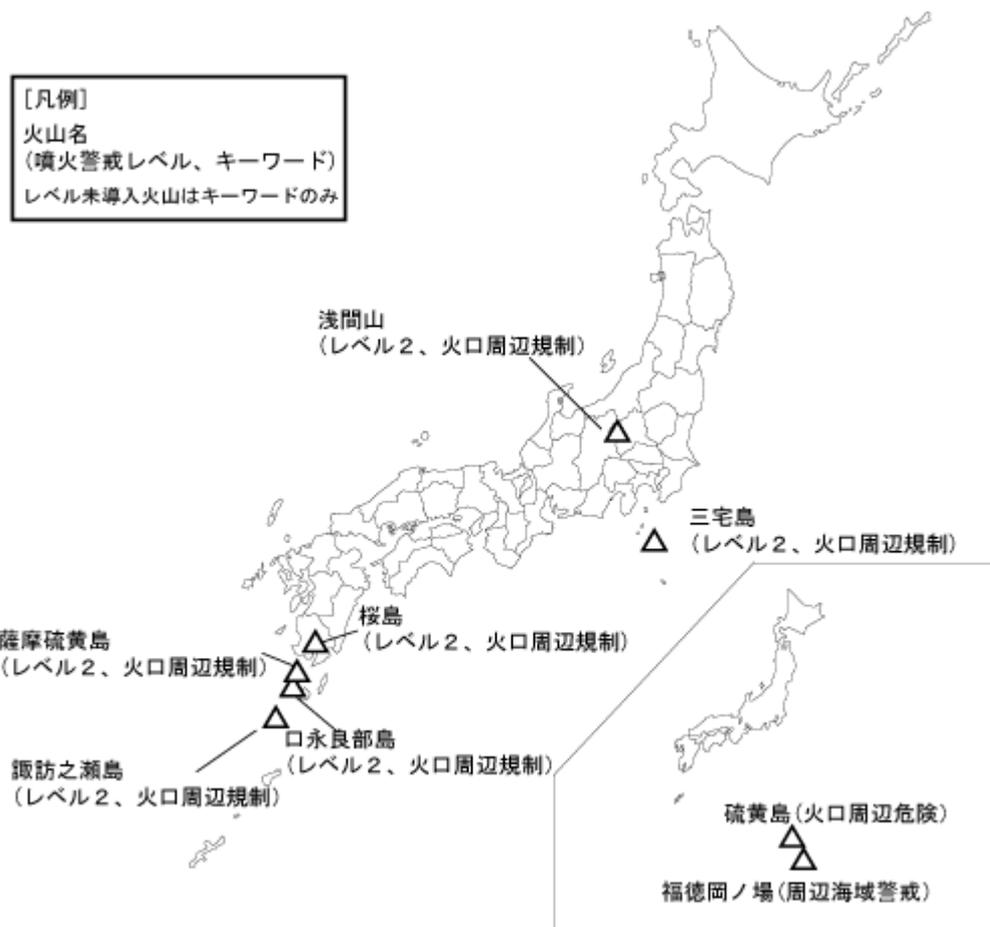


図1 噴火警報発表中の火山

### 【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

#### 雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] 4月10日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に引下げ

雌阿寒岳では、火山性地震の発生状況は1月下旬以降概ね低調に推移し、火山性微動は3月19日以降発生していません。また、噴煙活動も次第に低下しています。

雌阿寒岳の火山活動は落ち着いた状態となっており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったことから、4月10日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)へ引き下げ、火口周辺警報を解除しました。

4月7日に陸上自衛隊第5旅団の協力により行った上空からの観測では、ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙は白色で勢いも弱く、火口の状況にも特段の変化はありませんでした。

GPS 連続観測では、2008年10月初め頃よりやや広域の地殻変動が認められていますが、浅部の膨張を示す地殻変動は認められていません

火口内では引き続き噴気活動が続いており、今後も火口内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性がありますので、火口内や近傍では火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要です。

#### 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)] 4月10日に噴火予報を切替(噴火警戒レベル1、(平常)継続)

草津白根山では、湯釜火口内の北壁や水釜火口の北から北東側にあたる斜面でわずかな熱活動の高まりがみられています。今後これらの活動がさらに高まった場合には、山頂火口から概ね500mの範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があることから、10日14時00分に噴火予報を切り替えました(噴火警戒レベル1(平常)継続)。

東京工業大学の観測によると、湯釜火口内北東部の噴気孔周辺の地中温度は引き続き高温の状態が継続しています。

山頂から概ね 500m の範囲ではごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られます。周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留する事がありますので、注意が必要です。

#### **浅間山 [火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)] 4月7日に噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引下げ**

浅間山では、火山性地震はやや多い状態が続いていますが、2月2日の噴火前にみられた周期の短い火山性地震の増加は認められないことや、二酸化硫黄の放出量も減少してきていること、傾斜計による地殻変動観測では特段の変化は認められないことなどから、山頂火口から4kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと考えられ、7日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引き下げました。

14日07時32分頃及び30日20時02分頃にごく小規模な噴火が発生しましたが、山麓で降灰は確認されませんでした。

山頂火口からの噴煙量は3月以降大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上100~500mで推移しました。22日に陸上自衛隊の協力を得て実施した上空からの観測では、山頂火口内の火口底中央部とその周辺に高温領域が引き続き認められるなど、依然として熱活動の高まった状態が続いています。

3日、8日、13日及び24日に実施した現地調査では、山頂火口からの二酸化硫黄の放出量は3月以降減少しているものの、2008年7月以前の状態と比べ、引き続き多い状態が続いています。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火山ガス放出量の多い状態が続いていますので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要です。

#### **三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]**

1日16時17分頃、山頂火口でごく小規模な噴火が発生し、山頂火口から灰色の噴煙が火口縁上600mまで上がり東に流れるのを観測しました。1日夕方に行った現地調査では、山頂火口から約3kmの島の東側で微量の降灰を確認しました。

また、18日01時06分頃、振幅のやや大きな地震が発生しました。噴煙の状況は雲のため不明でしたが、18日早朝に行った現地調査の結果、山麓の南東から南側にかけて微量の降灰を確認したことから、地震発生と同時刻に、ごく小規模な噴火が発生したと推定されます。

7日及び13日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり800~3,200トンで、前期間(2008年3月、一日あたり1,000~1,700トン)と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いています。また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

噴煙高度は火口縁上100~400mで推移しました。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では、山頂火口周辺(雄山環状線内側)に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には泥流にも注意が必要です。

#### **硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]**

独立行政法人防災科学技術研究所及び国土地理院の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過していますが、2006年8月以来みられている島全体が隆起する地殻変動は現在も継続しています。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

#### **福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]**

21日に海上自衛隊が上空から行った観測によると、福岡ノ場付近では、湧出点付近で気泡を伴う青白色及び乳白色の変色水が、そこから西方向には幅約90m、長さ約900mの黄褐色及び青緑色の変色水が確認されました。これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測でも、福岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水が確認されています。

福岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

### 阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

現地調査では、中岳第一火口南側火口壁の噴気孔からごく微量の火山灰が時々噴出しているのを確認し、23日及び30日には、火口の南西側及び監視所駐車場横で微量の降灰が確認されました。また、夜間に行った現地調査で、同噴気孔のほか南側火口壁赤熱領域の中央付近の噴気孔からも火炎現象が観測されました。いずれも火口内で発生した局所的な活動と考えられます。

1日及び15日に行った現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり300~600トンで前期間(2008年3月、一日あたり200~700トン)と同様、少ない状態で経過しました。

中岳第一火口の湯だまりの表面温度や湯量に大きな変化はありませんでした。

地磁気観測による火山体内部の熱の状況では、2006年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみられましたが、2008年以降はその増加傾向が鈍っています。

その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、火口内では火山灰や火山ガスの噴出が見られることから、火口内及びその周辺では火山灰の噴出等に警戒が必要です。また、火口周辺では火山ガスに対する注意が必要です。

### 桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)] 4月24日に噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引下げ

桜島の昭和火口では、4月11日以降、昭和火口及び南岳山頂火口で発生したのはいずれもごく小規模な噴火でした。火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いており、山体の膨張を示す地殻変動も観測されていないことなどから、24日に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを3(入山規制)から2(火口周辺規制)に引き下げました。

今期間は、昭和火口では噴火が64回発生し、そのうち41回が爆発的噴火でした。このうち、9日15時31分の噴火では噴煙が火口縁上4,000mを超えて南西方向へ流れ、火砕流が昭和火口の東側約1kmの範囲に流下しました。9日15時31分の噴火後に気象庁機動調査班(JMA-MOT)が桜島島内で行った降灰調査では、東桜島町から桜島赤水町付近にかけて特に降灰の量が多く、また、野尻町(桜島火山砂防センター付近)では火山灰に混じって直径1cm程度の小さな噴石(火山れき)を確認しました。鹿児島市内及び周辺で行なった降灰調査や電話による聞き取り調査では、薩摩半島の広い範囲で降灰を確認しました。

2日と24日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり1,300~2,600トンと前回(3月11日)の400~500トンに比べ増加していました。

桜島の直下にマグマが新たに移動、上昇したことを示す地殻変動は観測されていません。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続しています。

昭和火口の噴火活動は、2006年6月の噴火以降、長期的には次第に活発化している傾向がみられるので今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

桜島では、引き続き昭和火口及び南岳山頂火口から1km程度の範囲に噴石を飛散させる噴火は発生すると予想されますので、これらの火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

### 薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

火山性地震はやや多い状態が続いています。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙の高さは火口縁上概ね50~700mで推移しました。27日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳山頂火口から断続的に白色の噴煙が上がっているのが確認されました。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では警戒が必要です。

### **口永良部島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

継続時間の短い火山性微動がやや多い状態で経過しました。遠望カメラ(新岳火口の北西約3km)の観測では、新岳火口から白色噴煙が時々観測されており、19日の観測では火口縁上400mに達するなど、噴煙活動はやや活発な状態が続いています。また、27日に第十管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、新岳火口から白色の噴煙が断続的に上がっているのが確認されました。

GPS連続観測では、平成20年9月以降認められていた新岳火口浅部の膨張を示す変化は、今年2月頃から鈍化しています。

口永良部島では、今後、火口から1km程度の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では降灰及び小さな噴石にも注意が必要です。

### **諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]**

御岳火口では、小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火も40回発生しました。諏訪之瀬島では長期的な噴火活動を繰り返しています。

諏訪之瀬島では、今後も御岳火口から約1kmの範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では警戒が必要です。

(火山の順は活火山総覧(第3版)による)

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成21年5月11日現在）

（1）主な活火山

|                  | 火山名        | 噴火警報及び噴火予報の発表状況         | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴   |
|------------------|------------|-------------------------|---|
| 北海道地方            | 雌阿寒岳       | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（平常）<br>2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険）<br>2008年10月17日 噴火予報（平常）<br>2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険）<br>2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常） |
|                  | 十勝岳        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（平常）<br>2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|                  | 樽前山        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|                  | 倶多楽        | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
|                  | 有珠山        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（平常）<br>2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|                  | 北海道駒ヶ岳     | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|                  | 恵山         | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
| 東北地方             | 岩木山        | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
|                  | 岩手山        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|                  | 秋田駒ヶ岳      | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
|                  | 栗駒山        | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
|                  | 吾妻山        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|                  | 安達太良山      | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（平常）<br>2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）   |
|                  | 磐梯山        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（平常）<br>2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）   |
| 関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島 | 那須岳        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（平常）<br>2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）   |
|                  | 草津白根山      | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）<br>2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替  |
|                  | 浅間山        | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）     | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）<br>2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）<br>2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）<br>2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）              |
|                  | 新潟焼山       | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
|                  | 御嶽山        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（平常）<br>2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）   |
|                  | 白山         | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
|                  | 富士山        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|                  | 箱根山        | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（平常）<br>2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）   |
|                  | 伊豆東部火山群    | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
|                  | 伊豆大島       | 噴火予報（レベル1、平常）           | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|                  | 三宅島        | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）     | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）<br>2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）   |
|                  | 八丈島        | 噴火予報（平常）                | 2007年12月1日 噴火予報（平常）   |
|                  | 硫黄島        | 火口周辺警報（火口周辺危険）          | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）   |
| 福徳岡ノ場            | 噴火警報（周辺海域） | 2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒） |   |

|           | 火山名      | 噴火警報及び噴火予報の発表状況     | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴  |
|-----------|----------|---------------------|--|
| 九州地方・南西諸島 | 九重山      | 噴火予報（レベル1、平常）       | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）   |
|           | 阿蘇山      | 噴火予報（レベル1、平常）       | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）   |
|           | 雲仙岳      | 噴火予報（レベル1、平常）       | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）   |
|           | 霧島山（新燃岳） | 噴火予報（レベル1、平常）       | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）<br>2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常）  |
|           | 霧島山（御鉢）  | 噴火予報（レベル1、平常）       | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）   |
|           | 桜島       | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）<br>2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）<br>2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）<br>2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）<br>2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）<br>2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替<br>2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
|           | 薩摩硫黄島    | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）   |
|           | 口永良部島    | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常）<br>2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）<br>2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）<br>2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）   |
|           | 諏訪之瀬島    | 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）   |

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。  
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

## （2）その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

|                   | 火山名  |
|-------------------|--|
| 北海道地方             | 知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌプリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山                   |
| 東北地方              | 恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳  |
| 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島 | 高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山 |
| 中国・九州地方及び南西諸島     | 三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山   |